

1. 自衛官への入り口には、各コースともに入學試験、採用試験があり、この関門突破が第1のスタートです。



試験受付（札幌・真駒内）



自衛官候補生（女子）採用試験（鳥取）



防衛大学校第1次試験（愛知）

2. 晴れて選抜試験に合格し、入隊・入校する若人を自衛隊家族会はじめ地域の多くの人がお祝いし応援します。



入隊入校予定者激励会（秋田）



入隊入校激励会（新潟）



入隊入校予定の若者たち（栃木）

3. 希望と不安を胸に自衛隊への門を叩きます。



同期とともに新たな世界へ（陸自）



同期と声合わせて宣誓（海自）



声高らかに宣誓（空自）

4. 入隊・入校後は、将来の夢に向かって厳しい訓練に耐え勉学に励みます。



15キロの背のうを背負い行進訓練（陸自）



全員力を合わせてカッター訓練（海自）



戦闘行動基礎（空自）

5. 各課程の厳しい教育を修了して「自衛官」として本格的な活動を始めます。



自衛官候補生課程教育修了式（陸自）




課程教育を終えて（海自）



卒業帽子投げ（空自）


先輩からの声



東部方面後方支援隊
第104全般支援大隊
整備中隊
3等陸曹
畦田 泰洋

戦士として、整備員として、
日本のために働きたい。

兄に自衛隊体育学校 の存在を教わったことが、入隊のキッカケでした。入隊後、自分の中で一番変わった点は、これまで以上に日本を好きになったことです。現在は、自衛隊車両の整備に従事し、ミスをなくすために、繰り返し点検を徹底しています。いずれ整備士の資格を取得し、多くの車両の整備に関わることで、立派な自衛官を目指したいです。災害派遣などで活躍している自衛官をTVや新聞の報道で見ると、やり甲斐を強く感じますので、将来的にはPKOなど自衛官にしかできない仕事を体験したいと思っています。



護衛艦きりしま
海士長
山下 知晃

不安を消してくれたのは、
先輩の厳しい指導。

部隊である艦に着任する時、艦という特殊な環境下での厳しい訓練や任務のことを想像すると不安でいっぱいでした。しかし、時に優しく、時に厳しく指導して下さる先輩方と一緒に様々な訓練・任務をこなしていくうちに、最初にあった不安は消え、今では様々な艦で色々な人と経験を積みたと思うようになりました。そして、指導して下さる先輩方のように後輩の模範となるよう成長したいです。いずれは、砕氷艦「しらせ」に乗艦して南極へ行きたいと思っています。



第2補給処
資材計画部在庫統制課
空士長
角田 卓磨

大勢が一丸となることの
大切さを、実感。

私は現在、補給員として、先輩方の指導のもと、全国の航空部隊で使用する部品の発注や在庫のコントロールなどを行っています。これらの業務を通じて実感することは、航空自衛隊では大勢の人が一丸となって努力しているということです。航空機は、パイロットをはじめとして、整備員や補給員などが、それぞれの役割をしっかりと果たすことで、初めて飛ばすことができます。大空を飛び航空機を見るたび、その一員として日本の平和を守っていることを実感できる自衛官という仕事に誇りを持って日々の業務や訓練に励んでいます。

所属・階級は取材当時のものです。